

# 産業建設常任委員会

日 時 平成 26 年 9 月 22 日 ( 月 ) 午前 時 分 ~  
場 所 第 2 委員会室

---

## 1 開議

## 2 事務局日程説明

## 3 所管分付託議案審査（説明～質疑）

( 1 ) 第 9 号議案 亀岡市水道事業の設置等に関する条例及び亀岡市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
【上下水道部】

( 2 ) 第 1 号議案 平成 26 年度亀岡市一般会計補正予算（第 2 号）

【産業観光部・まちづくり推進部】

( 3 ) 第 51 号議案 市道路線の認定及び廃止について

【まちづくり推進部】

## 4 討論～採決

## 5 その他

( 1 ) 議会だよりの掲載事項について

( 2 ) 次回の月例開催について

# 産業建設常任委員会資料

平成 26 年 9 月 22 日

- 産業観光部 -

第1号議案  
平成26年度亀岡市一般会計補正予算(第2号)

○歳出

(単位:千円)

款項目節	補正額
7商工費	1,294,100
1商工費	
2商工業振興費	
13委託料	134
17公有財産購入費	1,293,966

○積算

・委託料

(単位:円)

権利に関する登記業務	123,990
消費税(8%)	9,919
合計	133,909

・公有財産購入費

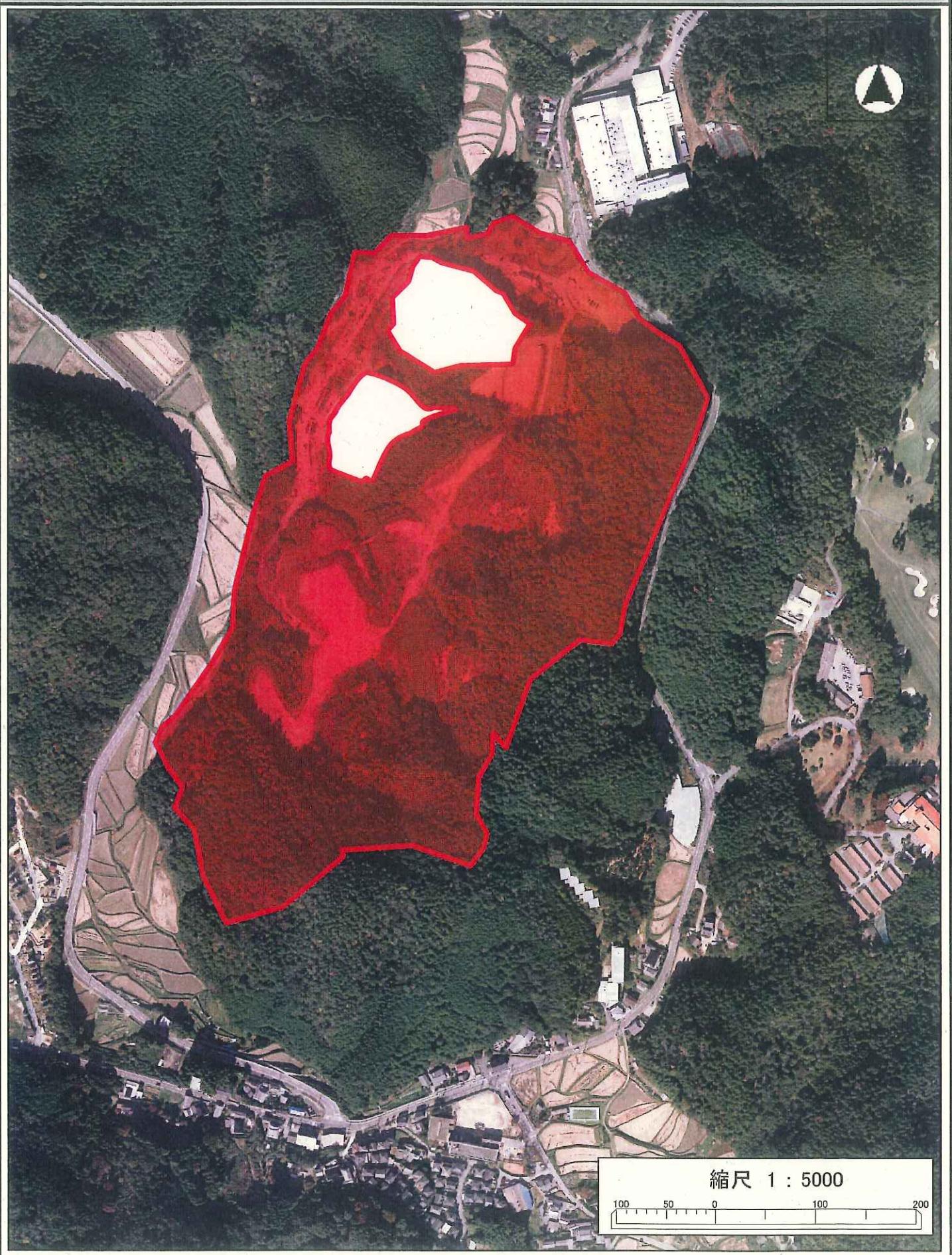
(単位:円)

取得費 西別院町柚原七々瀬2番 他54筆 (対象地は次頁一覧)	848,745,864
諸経費	48,545,180
支払利息	387,702,873
事務費	8,972,083
合計	1,293,966,000

亀岡市／西別院工業適地／所在別／地目・面積表

町	大字	小字	地番	枝番	登記地目	地積	地権者
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	2		雑種地	1,378.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	3		雑種地	2,581.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	4	乙	原野	135.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	4	1	山林	556.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	4	2	山林	553.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	5		溜池	128.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	6		山林	1,659.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	7		原野	3,213.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	8		原野	66.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	12		原野	661.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	13		原野	839.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	14	1	雑種地	1,038.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	15		雑種地	386.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	16		原野	1,064.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	16	1	原野	109.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	16	2	原野	935.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	17		山林	62.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	18		原野	611.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	19		原野	109.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	024 七々瀬	19	1	山林	1,094.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	4	1	山林	6,370.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	4	2	山林	7,338.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	5		山林	2,971.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	6		山林	4,687.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	7		山林	10,786.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	8		山林	3,484.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	9		山林	9,646.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	10		山林	370.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	11		山林	5,041.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	12		山林	2,677.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	13		山林	2,390.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	14	1	山林	1,976.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	14	2	山林	1,590.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	026 西中山	14	3	山林	168.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	032 東中山	11		山林	1,203.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	032 東中山	12	2	山林	1,885.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	032 東中山	13	1	山林	17,311.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	1	1	原野	446.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	3		原野	59.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	4	1	原野	158.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	4	3	原野	702.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	5	2	原野	869.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	6	1	雑種地	1,761.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	7		原野	710.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	8		原野	826.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	9		原野	1,818.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	12		原野	2,353.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	13	1	雑種地	793.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	036 水汲	13	2	雑種地	1,051.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	037 向井田	10		山林	466.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	037 向井田	11		山林	39.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	037 向井田	12		山林	697.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	037 向井田	13		山林	429.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	037 向井田	14		山林	188.00	・亀岡市土地開発公社
43 西別院町	10 柚原	015 ヨフケ	16		原野	337.00	・亀岡市土地開発公社
					計	110,772.00	

A4



## 平成 23 年度、当時の資産活用プロジェクトにて整理した事項

### 【経営健全化推進本部会議】

- 今日の社会経済情勢から、当該地を工業団地として整備していくことは困難と判断し、次の考えで整理していくこと
- ①希望する事業者があれば一括売却
  - ②実勢価格での売却
  - ③工業系に限定せずに広く探していく
  - ④売却までの間は、現状のままで活用したい事業者に貸付ける

(23 年 2 月 本部会議確認)

### 【市議会の意見】

- 今日の社会情勢、経済情勢の中では工業団地としての売却は困難と考えられるため、別目的での活用を検討するなり、新たな投資をせずに現状での売却を早期に進めること

(22 年 6 月 特別委員会中間報告)

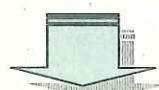
- これ以上経費負担が発生しないよう、早い時期に用地の売却を行い事業終結すること

(23 年 10 月 決算認定付帯決議)



### 【土地利活用の考え方】

- ①当地への立地意向を示す企業が皆無であったこと、加えて近隣の工場用地に優位性を示せるものがない中での用地造成は、リスクが大きく断念すべきと考える
  - ⇒現状では、工場用地として条件を欠くために、山林としての価値評価となる
  - ⇒好条件の工場用地の供給過多のときに、多額の投資を伴う用地造成は失敗となる
- ②現状での土地利用を望む事業への譲渡は維持して、企業リサーチは継続して行う
- ③平成 22 年から賃貸利用をさせている「ユ・メ・ミ ファクトリー」の地域効果や経営状況を数年みて、賃貸から譲渡の話を仕掛けていく（現賃貸契約期間＝22 年 8 月～25 年 3 月末）
- ④公社簿価額の累増抑制のため、継続して有利子借入の削減措置を講じるとともに、現経営健全化計画が終了する 25 年度に第三セクター債を活用して整理してしまうことを目標に検討を進める
  - ⇒ 24 年度末簿価額約 12.9 億円（有利子借入 3.3 億円 + 市からの貸付 9.6 億円）



## 【平成 24 年度・25 年度・26 年度 上記土地活用の方針に基づく対応事項】

- ① 国の工場適地（亀岡市西別院）を取り下げる（平成 25 年 12 月 18 日付通知）
- ② 企業リサーチを行い、この間、4 業者（メガソーラー関連 2 社、リサイクル関連 2 社）より引き合いあり 内メガソーラー関連 1 社とは継続

### 市より売却依頼業者

- 1) 大阪ガス 再生可能エネルギー施設の設置
  - ・計画策定されるものの、事業採算ベースにならず、辞退
- ③ 「ユメミ」 購入希望あるものの現賃貸部分のみを希望。  
市としては一括売却を希望しているため、成立せず。（平成 25 年 10 月現在）
- ④ 平成 24 年 10 月、市が借入金相当額を全額貸付し、有利子負債無し。  
25 年度末簿価額約 12.9 億円（市からの貸付 12.9 億円）  
【 内訳用地費約 8.5 億、利息 3.9 億、他 0.5 億】

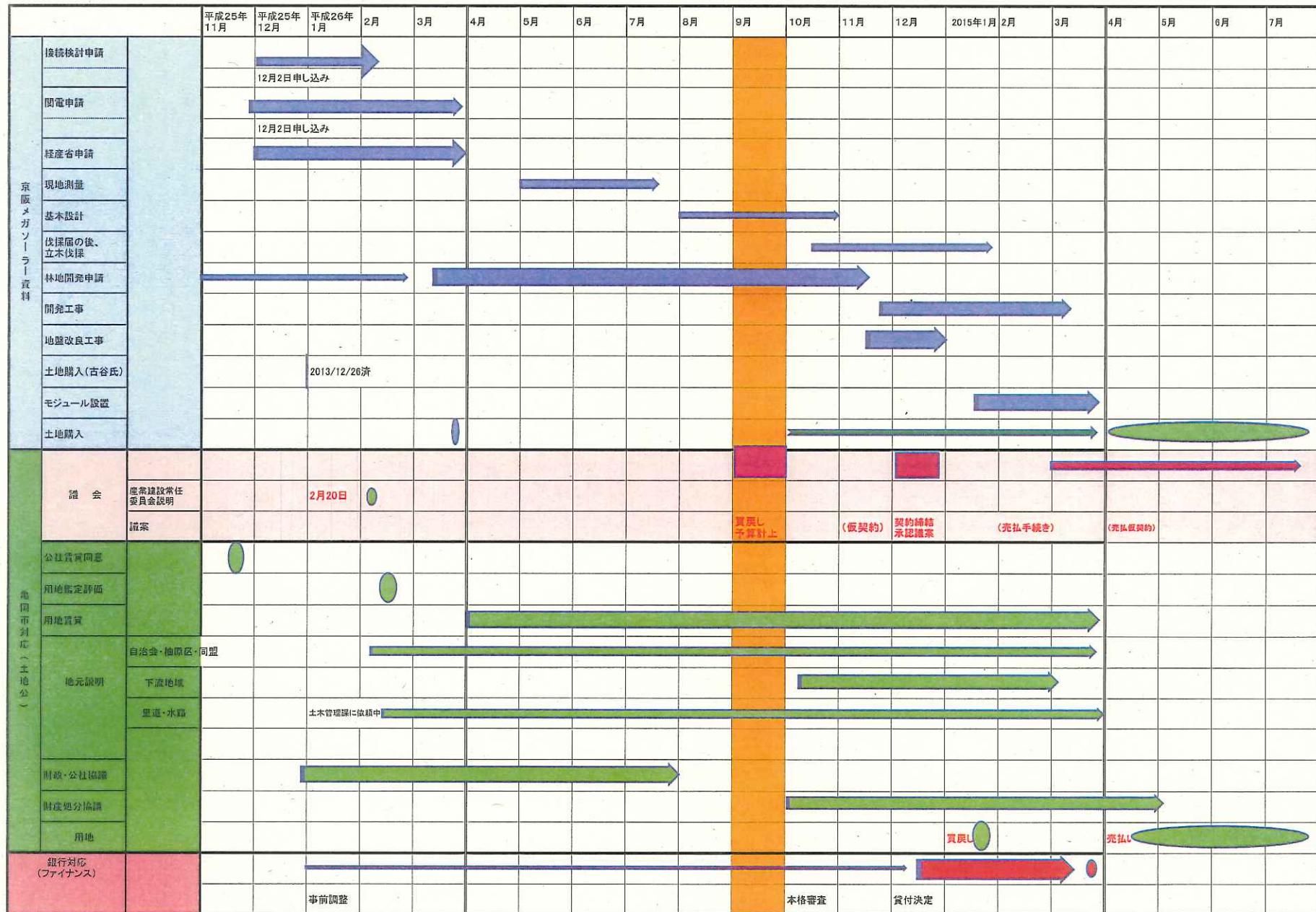
### 【地元西別院町への対応】

- 今後の見通しとして上記内容説明。
- 一部貸付いている事業について、地元としては、完全に納得した状況ではない。
- 農業との連携や定住促進など地域還元性の高い利活用策を検討するよう求められる  
(24/25/26 年地域懇談会)
- 法定外公共物（里道、水路）及び市道七々瀬線について、整理の方向性について基本合意に至る。順次、対応可能な項目から着手していく。
  
- リサイクル、メガソーラー関連業者の事業内容説明  
メガソーラー関連業者と交渉継続中の旨伝えている  
⇒ 地元説明 1 回済、今後も開催予定
- 太陽光発電事業者が林地開発許可申請手続きに着手し、地元説明会を実施された後、協定書を締結され、森林審議会への諮問予定（10 月頃）  
(自治会・袖原区)



上記をふまえ、平成 26 年 9 月議会に予算計上。

## 柚原太陽光発電所スケジュール



平成26年9月亀岡市議会定例会産業建設常任委員会 第51号議案 市道路線の認定廃止 概要

路線名	延長 m	幅員		事業概要
		最小 m	最大 m	
市道認定 (馬路町)				
1) 池尻3号線	190.00	4.00	6.00	○ 地元自治会から市道認定要望があり、認定要件が整ったため、市道に認定するものです。
2) 池尻釣走田線	870.00	5.00	9.50	〃
3) 六反田高廻線	1,060.00	5.00	9.00	〃
4) 下脇田線	260.00	4.00	6.00	〃
5) 大樋中島線	850.00	5.00	11.50	〃
6) 河原尻田中前線	580.00	5.00	9.00	〃
(旭町)				
7) 山階印地八木線	1,186.26	4.00	10.00	○ 府営土地改良事業三俣地区圃場整備事業に伴い、整備事業が完了し認定要件が整ったため、市道に認定するものです。
8) 山階野田線	386.76	4.00	14.50	〃
9) 印地杉線	561.91	4.30	14.50	〃
10) 印地7号線	135.87	4.00	4.60	〃
11) 印地8号線	139.82	2.50	5.60	〃
(千歳町)				
12) 毘沙門出晴線	590.00	5.00	9.00	○ 地元自治会から市道認定要望があり、認定要件が整ったため、市道に認定するものです。
13) 毘沙門神子新田線	1,720.00	5.00	8.00	〃
(河原林町)				
14) 勝林島若宮線	350.00	5.00	9.00	○ 国営農地再編整備事業に伴い、従前廃止した市道について整備事業が完了し認定要件が整ったため、市道に認定するものです。
(東つつじヶ丘)				
15) つつじヶ丘140号線	40.00	4.00	4.00	○ 地元自治会から道路改良要望があるため、市道認定するものです。

平成26年9月亀岡市議会定例会産業建設常任委員会 第51号議案 市道路線の認定廃止 概要

路線名	延長 m	幅員		事業概要				
		最小 m	最大 m					
<b>市道廃止</b>								
(旭町)								
16) 山階印地八木線	1,338	27	3.60	11.10	○ 府営土地改良事業三俣地区圃場整備事業に伴い設置された道路の市道認定に際し、一部区間及び一部重複する部分が発生するため、現在の市道を一旦廃止するものです。			
17) 山階野田線	557	76	2.80	5.05				
18) 印地杉線	768	88	2.58	9.11				